

# 食文化のゲートウェイ香港

## ～文化を越えた日本食と炊飯器の半世紀～

香港における日本の食文化の普及にスポットをあてます。香港は海外最大の日本食の消費地であり、アジアへのゲートウェイでもあります。この半世紀、日本の炊飯器と日本食がいかに定着してきたか。ゲートウェイとは何か。そして香港の人たちにとって「日本食」とは何を指すのかなど、異文化へのアプローチを考えます。



中野 嘉子 氏

香港大学  
文学部日本研究学科  
准教授

(略歴)

アメリカ・ジョージタウン大 Ph.D. 専門は異文化間のコミュニケーション、日本のモノのグローバル化。1986 年よりワシントン D.C. に 10 年、1997 年より香港在住。日本のモノが文化を越えてどう広がり、形を変え、定着していったかというプロセスを追っている。1999 年安倍フェロー、2003 年アジアリーダーシップフェロー、2007 年より香港日本人倶楽部理事。2015 年、東京大学東洋文化研究所訪問研究員。

著作『Where There Are Asians, There Are Rice Cookers.』(Hong Kong University Press, 2009) 共著『同じ釜の飯ーナショナル炊飯器は人口 680 万の香港でなぜ 800 万台売れたか』(平凡社、2005 年)など。アジアで配信されている読売新聞国際版で、香港発の「リレーエッセー」を担当。

2015 年

日時

11月24日 火

講演 15:30 ~ 17:00 (90 分)

意見交換会 17:15 ~ 18:15

会場

農林水産技術会議事務局

筑波産学連携支援センター 本館 3 階

展示会議室 (つくば市観音台 2-1-9)

主催：農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター

対象：農林水産省所管国立研究開発法人の職員、当テーマにご関心のある方

定員：100 名 (筑波産学連携支援センターホームページより事前申込み：参加費無料)

お申込み・お問い合わせ



筑波産学連携支援センター

<http://sto.affrc.go.jp>

筑波産学連携支援センターホームページ内、「セミナー・ワークショップ」よりお申込み下さい。

締め切り：2015 年 11 月 17 日 (火) ※定員になり次第締め切ります。

農林水産省農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課

TEL : 029-838-7129 メール : renkei-shien@cc.affrc.go.jp